

## 館山市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定業務提案評価基準

### 1 面談審査ほか（審査項目及び配点）

評価項目	評価基準	配点	A	B	C	D	E
			×1.0	×0.8	×0.6	×0.4	×0.0
1 企業評価（配点10点）		10			6		
業務実績	・都市計画マスタープラン等の策定業務について、十分な実績を有しているか。	5	5	4	3	2	0
実施体制	・業務の円滑な推進が期待できる体制が提案されているか。 ・業務責任者及び業務担当者は、同種業務における実績を有しているか。	5	5	4	3	2	0
2 技術力評価（配点45点）		45			27		
実施手順	・市職員の作業量を考慮し、実施可能な工程・余裕のある事業計画となっているか。	10	10	8	6	4	0
調査業務	・本市の地域性、実情及び現行の都市計画マスタープランを正確に捉え、計画策定に必要な調査を実施する提案となっているか。	5	5	4	3	2	0
集計分析業務	・調査やヒアリング結果の整理、分析等について、実施内容や方法が具体的かつ有効な提案となっているか。	5	5	4	3	2	0
計画策定業務	・国の立地適正化計画の方針や千葉県の総合計画、策定作業中の本市の総合計画等、上位計画や方針を踏まえた計画策定の提案となっているか。 ・調査及び分析を踏まえ、本市における課題の解決策や目標設定などの提案になっているか。	15	15	12	9	6	0
独自提案	・計画書の構成が、市民及び市職員にとってわかりやすさ、読みやすさが期待できる提案となっているか。 ・指定した調査以外で、当市の課題の洗い出しや市民等の意見を反映させることができる調査の提案があるか。	10	10	8	6	4	0
3 その他（配点15点）		15			9		
業務への支援	・庁内外協議、市民説明会等の業務支援において有効な手段が期待できるか。	5	5	4	3	2	0
事業への取組	・提出資料はわかりやすく、読みやすい内容となっているか。 ・説明は業務に取り組む意欲、積極性が感じられ、根拠や知識の裏付けによる説得力を有しているか。	5	5	4	3	2	0
質疑応答	・審査委員からの質問に対し、適格に回答することができるか。	5	5	4	3	2	0
小計（面談審査分）		70			42		
価 格 評 価 分		30			18		
合 計		100			60		

- ・面談審査による評価方法は「絶対評価」とし、次の5段階で評価する。

（A：創意・工夫があり特に優れた内容である B：優れた内容である C：平均的な内容である D：仕様は満たしているが内容に乏しい E：提案ができていない）

- ・面談審査の点数（配点70点）について、選定委員全員の平均点が42点（平均的な内容）未満の者は失格とする。

## 2 価格評価

価格評価分の評価方法は「相対評価」とし、次のとおり配点する。

- ・ 2 か年の合計金額が最も低い者 (①) : 30 点
- ・ 他の者 : (①の金額/当該者の金額) × 30 点 (小数点以下第 2 位四捨五入)

※ 参加者が 1 者の場合、本項目の評価は 18 点とする

## 3 総合得点

「選定委員 8 名の平均点 (小数点以下第 2 位四捨五入) + 価格評価点」の得点上位の提案者から順位付けを行い、第 1 位の者を候補者とする。

## 4 その他

- ・ 参加者が 1 者であっても審査会を実施し、候補者を選定する。
- ・ 選定結果について異議申し立てを認めない。